



発行日平成 24 年 7 月吉日
上尾の活性化を考える会

上尾市議会議員 池野 耕司
上尾市浅間台 4-17-15
TEL: 048-775-8259
FAX: 048-773-6357

こづじレポート No55

☆南三陸町への行政視察（7月6日）☆

上尾・桶川・伊奈衛生組合の行政視察として、南三陸町に行ってきました。下水道設備・汚水処理施設の被害状況・今後の復旧見込について現況を把握してきました。住民の高台移転計画・ガレキのリサイクル工場の建設等の復興に向けた具体的計画が決定していない為、復旧予定が遅れている状態である。震災時に職員 36 人が犠牲となった為、全国から職員 43 人を派遣して戴き、街づくりの復興計画を作っている段階です。子どもの教育環境の早期整備も願わずにおれません。



陸前高田市への支援活動（第6回目）



上尾市における岩手県陸前高田市への今年度のボランティアバス派遣事業は、4回予定されており、私は今回7月13日～16日の3泊4日の日程で参加してきました。延べ6回目となりました。活動内容は、矢の浦漁港の小友牡蠣組合の養殖用イカダ作り及び引き込み道路整備・草刈り等が主な活動でした。尚、今後のボランティアバス派遣予定は、8月17日～19日及び9月21日～23日に予定されています。詳細は上尾市社会福祉協議会ホームページをご参照ください。 問合せ先；上尾市社会福祉協議会 TEL773-7155



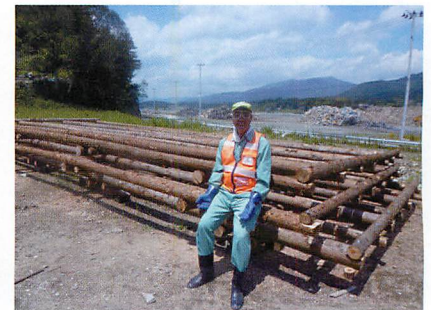
木材の穴開け



ボルトでの固定



支柱のカット



牡蠣養殖用イカダの出来上がり

1. 作業場の近くは、昨年の3.11に多くの犠牲者と惨状をもたらした海とは思えない穏やかで、豊かな広大な海、広田湾に接している場所です。一方、至る所、多くインフラ面の傷跡が残っている場所でもあります。
2. 組合長の自宅は解体されておりました。240年近く経過した市の文化財に指定される位の歴史的な住宅でした。現在、ご家族は避難所生活ですが、生活再建に向けて全員が笑顔で明るく、前を向いて生活しておられました。悲惨な絶望から立ち上がる被災者の「生きる力」を感じました。被災者の方々の自助努力に接し、私も、ボランティアとして今後も微力ですが、汗を流して被災地の立ち直りに向けた役割を果たしたいと考えています。
3. 組合所属の流された養殖用イカダは800基である。組合員が協力して昨年よりイカダ作りを行っており、今後300基のイカダを完成させる予定である。そこで、今回の支援活動としてイカダ用の重い原木を運び、組み立てるといのが主な作業でした。港に多くのイカダが積まれており、地域生活再建、漁業の振興を感じました。被災地の着実、堅実な復興を願いながらも「あたりまえ」の生活の有難さをひしひしと痛感しました。この経験を生かし上尾市における安心な街づくりに貢献したいと考えています。

♪第17回あげお花火大会：昨年、節電等で中止でしたが8月4日午後7時から平方の荒川河川敷で開催